

# マルクト・ムールナウと観光

Murnau am Staffelsee und Tourismus

山田 徹 雄  
Tetsuo YAMADA

## 要 旨

ガルミッシュ＝パルテンキルヘン郡において、マルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘンに次いで人口が多いマルクト・ムールナウは、前者と比較すれば都市化が進んだ地域であるが、オーバーバイエルン・アルプス周辺の自然景観とカンディンスキー以来の芸術的伝統を有する観光地域である。近年では、マルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘンと並んで医療観光分野を充実させてきた。また、「ムールナウ建築等条例」によって、自治体として景観維持の姿勢を明確化している。

キーワード：ムールナウ、青い大地、カンディンスキー、医療観光、景観規制

## 1. マルクト・ムールナウ

マルクト・ムールナウは、ミュンヘンから65km、マルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘンから25kmの地点にあり、両都市へ鉄道でおよそ30分の距離にある。芸術的な伝統を有し、会議へのビジネス旅行者（Geschäftsreisende bei Tagungen und Kongressen）、また保養目的の健康志向休暇旅行者（Gesundheitsurlauber）が訪れる小規模な都市である<sup>(1)</sup>。

同市は、ガルミッシュ＝パルテンキルヘン郡において、マルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘンに次いで人口が多い。2012年末において、人口12,300人のうち、ローマ・カトリックが11,735人、プロテスタントが2,153人であり、圧倒的にカトリックが優勢な地域である。国籍別に居住者を見ると、ドイツ国籍を持つ者が11,204人に対して、外国籍の者は1,096人が居住登録している。また、同市の主たる居住者、11,735人の他に、従たる居住者（別荘所有者）が571人存在する<sup>(2)</sup>。

経済の中心は、観光部門であり、とくに健康関連部門（Gesundheitssektor）と情報産業（Informationsindustrie）が際立っていると、指摘されている<sup>(3)</sup>。

### 1-1. マルクト・ムールナウの歴史

ムールナウ地域が歴史に登場するのは、トレントとアウグスブルクを結ぶローマの街道上にコヴェリアカエ（Coveliacae）という駅（Straßenstation）が、西暦260年ごろ、モースベルク（Moosberg）に設置されたことに始まる。7世紀にはシュタツフェル湖の小島ヴェールト（Wörth）に教会が建てられ、これはのちに修道院となった。ムールナウという地名は1150年ごろ現れた。マルクト・ムールナウが開市権を獲得したのは、1350年のことであった。30年戦争においては、スウェーデン軍、フランス軍に占領された。近代に入ると、1879年にヴァイルハイム～ムールナウ間に鉄道が開通しミュンヘンへの連絡が実現した。1889年にはそれがガルミッシュ＝パルテンキルヘンまで延長された。さらに1900年にはムールナウからオーバーアマーガウへの支線が建設され交通の結節点が形成された。1972年、ムールナウはヴァイルハイム郡から分離されガルミッシュ＝パルテンキルヘン郡に編入され現在に至っている。1980年にはムールナウ湿原が自然保護地域に認定された<sup>(4)</sup>。

第2次大戦中、ポーランドの将校が拘留されていた営舎は、1956年以降、ドイツ連邦国防軍によって占有され、ケンメル兵舎（Kemmel-Kaserne）と呼ばれていた。冷戦終結後、ムールナウ市は、連邦政府からその用地を買収し、同市が100%出資する「ムールナウ土地管理有限会社」（Murnauer Grundstücks-Verwaltungs-GmbH）のもとで開発が行われ、現在ではケンメル公園（Kemmelpark）と呼ばれている<sup>(5)</sup>。

### 1-2. マルクト・ムールナウの人口

[表1]においてマルクト・ムールナウにおける年齢別人口構成をみると、18歳未満が16.3%であるのに対して、65歳以上は22.7%を占め、若年層に対する高齢者の割合が高いことが確認できる<sup>(6)</sup>。

1960年以降、人口の動態は微増を示してきた。そのなかで、1980年以降、死亡が出生を恒常的に上回る一方、1970年以来、転入が転出を上回り、人口増加は社会増であることが確認できる。（[表2] 参照）

[表1] マルクト・ムールナウの人口年齢構成（2011年12月31日）（%）

6歳未満	4.8
6歳以上15歳未満	8.3
15歳以上18歳未満	3.2
18歳以上25歳未満	6.5
25歳以上30歳未満	4.3
30歳以上40歳未満	11.6
40歳以上50歳未満	19.3
50歳以上65歳未満	18.3
65歳以上	22.7

(典拠) Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für den Markt Murnau a.Staffelsee 09 180 124*, p.6

[表2] マルクト・ムールナウの人口動態

年度	出生	死亡	転入	転出	増減
1960	115	74	1,630	1,649	22
1970	103	79	1,803	1,643	284
1980	87	114	1,500	1,434	39
1990	117	153	1,016	1,656	224
2000	110	133	1,069	928	118
2007	96	117	982	876	85
2008	92	108	944	913	15
2009	100	127	960	885	48
2010	82	118	903	804	63
2011	92	135	1,046	869	134

(典拠) Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für den Markt Murnau a.Staffelsee 09 180 124*, p.7

### 1-3. マルクト・ムールナウの政治

ここでは、[表3] および [表4] によってムールナウ市民の投票行動を見よう。州議会選挙においては、伝統的にSPDが不振であり、CSUが過半数の得票率を維持してきた。この傾向に変化が現れたのは、2008年の選挙であった。CSUが初めて50%を大幅に下回る得票率を示し、GRÜNE およびFDPが10%を越す得票率を獲得した。

同様の傾向は連邦議会選挙においても確認できる。2005年の選挙では、CSUが過半数の得票

率をкаろうじて維持していたが、2008年にはFDPとGRÜNEが躍進し、CSUの得票率はようやく40%を越える結果となった。

[表3] 州議会選挙におけるムールナウ市民の政党別投票率 (%)

投票日	CSU	SPD	FW	GRÜNE	FDP	その他
1986年10月2日	62.9	17.6		8.3	4.9	6.3
1990年10月14日	61.4	16.5		6.9	6.2	6.2
1994年9月25日	57.1	19.3		7.5	3.3	12.8
1998年9月13日	59.4	18.3	2.1	7.9	2.2	10.2
2003年9月21日	63.2	13.1	1.6	9.9	2.7	9.5
2008年9月28日	41.0	13.1	8.6	11.5	11.2	14.7

(注) FW FREIE WÄHLER Bayern e.V.

(典拠) Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für den Markt Murnau a.Staffelsee 09 180 124*, p.8

[表4] 連邦議会選挙におけるムールナウ市民の政党別投票率 (%)

投票日	CSU	SPD	FDP	GRÜNE	DIE LINKE	その他
1990年12月2日	56.5	17.9	11.8	4.6	0.2	9.0
1994年10月16日	55.4	19.5	9.5	7.6	0.4	7.6
1998年9月27日	52.6	24.9	7.6	7.1	0.4	7.4
2002年9月22日	61.2	20.3	6.1	8.9	0.7	2.8
2005年9月18日	51.4	19.7	12.4	10.3	2.8	3.4
2009年9月27日	42.8	12.4	17.4	13.8	4.2	9.4

(典拠) Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für den Markt Murnau a.Staffelsee 09 180 124*, p.8

#### 1-4. マルクト・ムールナウにおける雇用と産業構造

ムールナウの雇用構造において特徴的である点は、外部からの通勤者の比率が比較的高く、郡内において、マルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘンと並んで地域経済の中心を形成している。(〔表5〕参照)<sup>(7)</sup>

これに対して、隣接する自治体においては、エグルフィングを除いて、自治体外への通勤者が多数存在し、これらの一定程度がムールナウに職場を得ていると考えられる。(〔表6〕参照)

産業別就業構造においては、商業、交通、接客、各種サービス部門がこの地域の経済を支えているがわかる。(〔表7〕参照)

他方、土地の利用形態では、農地が6割以上を占めている。マルクト・ガルミッシュ＝パルテ

マルクト・ムールナウと観光

ンキルヘンと比較すると、森林面積が少なく、住宅地が比較的多くの面積を占めている。〔表8参照〕<sup>(8)</sup>

このことは、ガルミッシュ＝パルテンキルヘン郡においては、大都市ミュンヘンに近いマルクト・ムールナウの方がマルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘンよりも都市化が進行しているためであろう。

〔表5〕 マルクト・ムールナウにおける雇用（2011年）

マルクト・ムールナウ居住者	3,898
外部からの通勤者	1,166
合計	5,064

(典拠) Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für den Markt Murnau a.Staffelsee 09 180 124*, p.9

〔表6〕 マルクト・ムールナウに隣接する自治体住民の雇用（2011年）

自治体	自治体内雇用	当該自治体外への通勤
リークゼー	343	265
シュパーツェンハウゼン	277	197
オールシュタット	1,179	715
ゼーハウゼン	644	265
シュヴァイゲン	191	124
グロースヴァイル	602	405
エグルフィング	310	-58
ウーフィング	917	556

(典拠) Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal 2012: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für die Gemeinde Spatzenhäuser 09 180 133*, p.9, Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal 2012: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für die Gemeinde Ohlstadt 09 180 127*, p.9, Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal 2012: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für die Gemeinde Seehäuser a. Staffelsee 09 180 132*, p.9, Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal 2012: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für die Gemeinde Schwaigen 09 180 131*, p.9, Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal 2012: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für die Gemeinde Großweil 09 180 119*, p.9, Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal 2012: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für die Gemeinde Eglfing 09 190 121*, p.9 et Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal 2012: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für die Gemeinde Uffing a. Staffelsee 09 180 134*, p.9

[表7] マルクト・ムールナウにおける産業別雇用 (2011年)

農業、林業、漁業	13
製造業	725
商業、交通、接客	1,129
ビジネス・サービス	477
公的および民間サービス	2,720

(典拠) Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für den Markt Murnau a.Staffelsee 09 180 124*, p.9

[表8] マルクト・ムールナウにおける土地利用形態 (2011年)

	面積 (ha)	比率 (%)
住居および空き地	355	9.3
工業用地	27	0.7
保養地	35	0.9
交通用地	124	3.3
農地	2,364	62.1
森林	627	16.5
河川、湖	252	6.6
その他	20	0.5
合計	3,805	100.0

(典拠) Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für den Markt Murnau a.Staffelsee 09 180 124*, p.12

## 2. 「青い大地」とムールナウ

シュタッフエル湖の周囲にあるムールナウを中心とするオーバーバイエルン・アルプス周辺地域 (Oberbayerisches Alpenvorland rund um den Staffelsee) を「青い大地」(Das Blaue Land) と呼び、地元自治体は「青い大地観光共同体」(Tourismusgemeinschaft Das Blaue Land) を組織している。この観光共同体に所属しているのは、マルクト・ムールナウ (Murnau am Staffelsee)、ゼーハウゼン (Seehausen am Staffelsee)、ウーフィング (Uffing am Staffelsee)、エグルフィング (Egfling)、グロースヴァイル (Großweil)、リークゼー (Riegsee)、シュパーツェンハウゼン (Spatzenhausen)、オールシュタット (Ohlstadt)、グラーフエンアーシャウ (Grafenaschau) である<sup>(9)</sup>。

「青い大地」(Das Blaue Land) という名称は、芸術家運動、『青い騎士』(der Blaue Reiter) に関わった画家、とくにワリシー・カンディンスキー (Wassily Kandinsky)、フランツ・マルク (Franz

Marc)、ガブリエレ・ミュンター (Gabriele Münter) に遡る。彼らは 20 世紀初頭にこの地で活動していた。ムールナウ後背の高台から南方を望むと、平らに広がったムールナウ湿原 (Murnauer Moos)、急峻な山岳の松の森、岩だらけの連山の濃いコントラストに心を奪われる。それは、逆光のなかで、この風景に特有の青い色調を醸し出し、『青い騎士』の画家たちを魅了した<sup>10)</sup>。

ムールナウ市の発行する『ムールナウの芸術散歩——ディスカパー、ワリシー・カンディンスキーとガブリエレ・ミュンター』(Murnau am Staffelsee, *Kunstspaziergang in Murnau – Wassily Kandinsky und Gabriele Münter entdecken*) をひも解くと、二人の画家が 20 世紀初頭に描いた情景と画家の視点から撮影した現在の写真映像とが符号する。(〔表 9〕 参照)

〔表 9〕 カンディンスキーとミュンターの作品

作家	作品名、制作年度	画家の視点の位置
カンディンスキー	Studie zu Murnau mit Kirche II, 1910	Blickpunkt Kottmülleralle (oberhalb Münter-Haus)
ミュンター	Murnau, 1910	Blickpunkt Kottmülleralle (oberhalb Münter-Haus)
ミュンター	Spreufahren im Winter, 1911	Blickpunkt Untermarkt 45, Kirchsteig
カンディンスキー	Kirche in Murnau, 1909	Blickpunkt an Mauer links am Friedhofseingang/ Bauhoferweg
ミュンター	Bei der Lindenburg, 1908	Blickpunkt Lindenburgweg gegenüber Hausnummer 35 (neben Hofauffahrt)
カンディンスキー	Schloßhof I, 1908	Blickpunkt Schloßhof (Zufahrtbereich/ Ecke Marktarchiv)
カンディンスキー	Grüngasse, 1909	Blickpunkt Grüngasse 4 (seitlicher Eingang)
ミュンター	Das Gelbe Haus, 1909	Blickpunkt Obermarkt 40 (in Nauminsel vor Optiker am Obermarkt)
カンディンスキー	Obermarkt mit Gebirge, 1908	Blickpunkt Obermarkt 41 (auf Treppe)

(典拠) Murnau am Staffelsee, *Kunstspaziergang in Murnau – Wassily Kandinsky und Gabriele Münter entdecken*

『青い騎士』グループの伝統を受け、ムールナウは芸術の伝統が継承され、シュロス・ムゼウム (Schloßmuseum Murnau)<sup>11)</sup>、ミュンターハウス (Münter-Haus in Murnau)<sup>12)</sup>、また、ギャラリー (Murnauer Galerien)<sup>13)</sup>が、観光資源として活用されている。

### 3. 医療とムールナウ

ガルミッシュ＝パルテンキルヘン郡が郡開発コンセプトとして、医療観光を目指していること

は、すでに別稿で指摘した<sup>14)</sup>。特に、マルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘンとムールナウにおいてその傾向が著しい<sup>15)</sup>。

[表10] に依拠して郡内の医療機関の立地を見ると、マルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘンとマルクト・ムールナウに大規模な施設が存在する。マルクト・ムールナウに存在する最大の医療機関であるムールナウ病院 (Klinik Murnau) は、正式な名称は Berufsgenossenschaftliche Unfallklinik Murnau (略称BGU) であり、ドイツ語<sup>16)</sup>、英語<sup>17)</sup>、ロシア語<sup>18)</sup>のサイトによって、広く広報を行っている。「事故病院」(Unfallklinik) の名が示すように外科、麻酔科、救急医療、リハビリを中心とする医療を行っている<sup>19)</sup>。

事故による外科診療において、地域を越えて定評があり、とくに脊柱・脊髄損傷に対する治療の専門部門を持つ。1969年に、ドイツで最初の部門横断的外科治療センターを持つに至っている。ミュンヘン大学付属ガルミッシュ＝パルテンキルヘン病院とは、内科医療において協力関係にある。

ムールナウ病院の設置者 (Träger)、すなわち持分所有者 (Gesellschafter) は、ドイツ全体の負傷者用の病院を展開している健康保険組合 (der Verein für Berufsgenossenschaftliche Heilbehandlung) である<sup>20)</sup>。

ホッホリート病院は、社団法人アウグスブルク司教区青少年福祉事業 (Katholische Jugendfürsorge der Diözese Augsburg e.V.) が設置する18歳未満の小児、青少年を対象とする長期にわたる医療リハビリ専門病院である。広大な敷地のなかに学校を併設し、地域を越えた患者を受け入れている<sup>21)</sup>。

[表10] マルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘン郡内の医療機関

医療施設 (Einrichtung)	立地	専門領域 (Spezialisierung)	ベッド数 (Betten)
ミュンヘン大学医学部付属ガルミッシュ＝パルテンキルヘン病院 (Klinikum Garmisch-Partenkirchen)	マルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘン	救命救急病院 (Akutklinik)、内科 (Innere Medizin)、内部人工器官科 (Endoprothetik)	505
ムールナウ病院 (Klinik Murnau) (Kooperation mit Klinikum GAP)	マルクト・ムールナウ	災害外科およびリハビリ (Unfallchirurgie- und Rehabilitation)、内科 (Innere Medizin)	433
ホッホリート病院 (Klinik Hochried)	マルクト・ムールナウ	小児・青少年科 (Fachklinik für Kinder- und Jugendmedizin)	256
オーバーアマーガウ健康センター (Gesundheitszentrum Oberammergau)	オーバーアマーガウ	リハビリ (Rehabilitation) : 心臓科 (Kardiologie)、整形外科 (Orthopädie) 呼吸器科 (Pneumologie)	181



マルクト・ムールナウと観光

小児・青少年リウマチ治療ドイツセンター (Deutsches Zentrum für Kinder- und Jugendrheumatologie)	マルクト・ガルミッシュ＝バルテンキルヘン	リウマチ性疾患 (Rheumatische Erkrankungen)	160
オーバーアマーガウ・リウマチセンター (Rheumazentrum Oberammergau)	オーバーアマーガウ	リウマチ性疾患 (Rheumatische Erkrankungen)	120
ベルガー博士専門病院 (Dr. Berger Klinikfachkrankenhaus)	マルクト・ガルミッシュ＝バルテンキルヘン	人工関節置換術 (Gelenkersatz)	69
レヒ＝マンングファル病院 (Lech-Mangfall-Klinik am Klinikum Garmisch-Partenkirchen)	マルクト・ガルミッシュ＝バルテンキルヘン	精神科／心理療法 (Psychiatrie/ Psychotherapie)	54
バルトナッハ民間病院 (Partnach Privatklinik)	マルクト・ガルミッシュ＝バルテンキルヘン	形成外科 (Plastische Chirurgie)	14
歯科美容民間病院 (Dentinic Privatklinik Zahnmedizin und Ästhetik)	マルクト・ガルミッシュ＝バルテンキルヘン	歯科 (Zahnmedizin)	4
ガルミッシュ＝バルテンキルヘン眼科病院 (Augenkl. Garmisch-Partenkirchen)	マルクト・ガルミッシュ＝バルテンキルヘン	眼科 (Augenheilkunde)	
泌尿器治療センター (Urologische Therapiezentrum U1)	マルクト・ガルミッシュ＝バルテンキルヘン	泌尿器科 (Urologie)	
オールシュタットリハビリ病院 (Rehaklinik Ohlstadt, LVA)	オールシュタット	整形外科 (Orthopädie)	

(典拠) Institut für Gesundheitsökonomik / Kreisentwicklungsgesellschaft Garmisch-Partenkirchen, *Entwicklungskonzept für die Gesundheitsregion Landkreis Garmisch-Partenkirchen: Abschlussbericht für die Kreisentwicklungsgesellschaft Garmisch-Partenkirchen*, 2012, p.43

ガルミッシュ＝バルテンキルヘン郡における医療施設の充実を物語るの、人口1,000人当たりのベッド数および病院勤務医数である。いずれもドイツ平均を大幅に上回る値を示す。〔表11〕参照)

[表 11] 医療施設と医師

	病院 (Krankenhäuser) (KH)	介護・リハビリ施設 (Versorge- und Rehaeinrichtungen)	人口1,000人 当たりの ベッド数 (Betten pro 1,000 Einwohner)	病院勤務医 (KH-Ärzte)	人口1,000人 当たりの 病院勤務医師数 (KH-Ärzte pro 1,000 Einwohner)
ドイツ	2,087	1,239	6.1	148,300	1.8
バイエルン	378	295	6.1	19,914	1.6

オーバーバイエルン	138	82	6.4	8,065	1.9
ガルミッシュ＝パルテンキルヘン郡	9	8	10.8	360	4.0

(典拠) Institut für Gesundheitsökonomik / Kreisentwicklungsgesellschaft Garmisch-Partenkirchen, *Entwicklungskonzept für die Gesundheitsregion Landkreis Garmisch-Partenkirchen: Abschlussbericht für die Kreisentwicklungsgesellschaft Garmisch-Partenkirchen*, 2012, p.43

では、医療関係施設がどの程度の雇用を創出しているであろうか？ ここでは、その傾向を確認するために、保健衛生施設 (Gesundheitswesen)、動物病院 (Veterinärwesen)、社会福祉施設 (Socialwesen) における雇用を近似値として用いる。[表 12] において、医療関係者というのは、これらの施設における常用雇用者である。

ガルミッシュ＝パルテンキルヘン郡内の自治体において、1,000 件以上の雇用があるのは、3 つのマルクト (ガルミッシュ＝パルテンキルヘン、ムールナウ、ミッテンヴァルト) とオーバーアマーガウである。このなかで、ムールナウの医療関係従事者比率は、群れを抜く。

[表 12] 常用雇用者に占める医療関係者

自治体	雇用数	常用雇用者に占める医療関係者 (%)
マルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘン	9,528	22.51
マルクト・、ムールナウ	4,923	44.32
マルクト・ミッテンヴァルト	1,616	6.50
オーバーアマーガウ	1,423	24.82
ガルミッシュ＝パルテンキルヘン郡全体	23,618	22.36

(典拠) Institut für Gesundheitsökonomik / Kreisentwicklungsgesellschaft Garmisch-Partenkirchen, *Entwicklungskonzept für die Gesundheitsregion Landkreis Garmisch-Partenkirchen: Abschlussbericht für die Kreisentwicklungsgesellschaft Garmisch-Partenkirchen*, 2012, p.27

#### 4. ムールナウにおける宿泊状況

マルクト・ムールナウには、2012 年 6 月現在、ベッド数 9 床以上の宿泊施設が 20 軒存在し、それらが提供するベッド数は 999 床である<sup>23)</sup>。

以下、[表 13] および [表 14] によってさらに詳しい宿泊状況を確認しよう。

当地における宿泊者のおよそ 85% が国内からの旅行者である。平均宿泊数においては、国外

からの旅行者よりも国内からの旅行者のほうがおよそ1泊多い。また、ベッド数9床未満の小規模宿泊施設における宿泊者の場合、平均宿泊数は7泊近くに達している。

[表 13] マルクト・ムールナウベッド数9床以上の宿泊施設における年間宿泊状況（2012年）

	宿泊者数	宿泊件数	平均宿泊数
国内からの旅行者	34,073	133,499	3.9
国外からの旅行者	5,863	15,742	2.8
合計	39,756	149,241	3.8

(典拠) Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für den Markt Murnau a.Staffelsee 09 180 124*, p.15

[表 14] マルクト・ムールナウベッド数9床未満の宿泊施設における年間宿泊状況（2012年）

宿泊者数	宿泊件数	平均宿泊数
3,684	24,510	6.7

(典拠) Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für den Markt Murnau a.Staffelsee 09 180 124*, p.15

## 6. ムールナウにおける景観規制

マルクト・ムールナウにおいては「マルクト・ムールナウ・アム・シュタッフエルゼーにおけるまちの建築規則および駐車スペースに関する条例」(Satzung über örtliche Bauvorschriften und Stellplätze im Markt Murnau a. Staffelsee den 09.August 2007) (以下「ムールナウ建築等条例」と略記)によって、まちの景観が規制されている。以下、この条例を紹介する。

同条例「序文」は、ムールナウに固有の道路、まち、風土の景観を維持・保護する姿勢が示されている。条例制定趣旨において、マルクト・ミッテンヴァルトと共通する。([資料1] 参照)<sup>28</sup>

この条例では、窓や屋根窓の形状について、詳細な建築基準を定め、屋根瓦は「地域で一般に使われている素材」を指定し、色彩の統一を求めている。([資料2] 参照) 建設用地については、既存の形状を極力維持すること、車の進入路の幅を極力狭く設置することなどを定めている。([資料3] 参照) 垣根の形状がまちの景観と適合することを求め([資料4] 参照)、駐車スペースは、住居の規模に合わせたガイドラインを提示している。([資料5] 参照) アンテナについても目立たないような設置の方法を求めている。([資料6] 参照)

[資料1]

序文 (Präambel)

マルクト・ムールナウ・アム・シュタッフエルゼーは、造形的な措置を通じて、ムールナウ独特の道路や、まちや、風土の景観をさまざまな都市計画の指標をもって保護し、永続的なまちのイメージを形成することによって、ムールナウを質的に豊かな生活空間として維持する。

(「ムールナウ建築等条例」)

資料2

§3 屋根の形状、増築

(1) 屋根に対する基本的な要求

母屋には傾斜した屋根しか許されない。

付属建築物および増築部分は、母屋の屋根の傾斜と同じか母屋の屋根から伸びた陸(ろく)屋根でなければならない。

- 屋根の覆いは、地域で一般に使われている素材(粘土やコンクリート製の茶もしくは自然赤の棧がわら)
- サンルームおよび副次的な増築部分はガラスもしくはブリキの屋根フェンスが許される。
- 建造物中央における屋根の棟の伸びは、建物の両脇に平行でなければならない。
- 屋根の延長部分が増築部分、バルコニー、付属建築物あるいは母屋から分岐した部分の上に傾斜した形状を形成することは許される。

(2) 屋根窓は屋根の傾斜が30°を下回る場合に許される。

傾斜が30°を越えるのが許されるのは、以下の場合である。

(省略)

(3) 屋根の傾斜が28度～30°である既存の長屋においては、以下の条件のもとで、各戸ごとに庭側に切り妻屋根窓が許される。

- 屋根窓の幅(外幅)が1.3mを上回らない。
- 屋根窓はその窓屋根の淵ぎりぎりまでとする。

(4) 屋根の切れ込みは許されない。

(5) 許されるのは、屋根の面に埋め込まれた窓(Dachliegefenster)のみであり、幅が最大1.15m、長さが最大1.40mの取り付けサイズまでの範囲である。屋根の表面に取り付けられたすべての窓の幅の合計が、(庇を除いた)建物の長さの1/2を越えてはならない。

長屋の場合には、屋根の面に埋め込まれた窓の幅の合計が建物の長さの3/5まで拡張することができる。

3階以上に拡張されている屋根の場合、屋根の面に埋め込まれた一連の第2の窓が許される。

屋根の表面のすべての埋め込み窓および1階あたりのすべての埋め込み窓は同じ高さに揃えなければならない。

(6) 平らにその下に位置するファサードから「高い位置に」のび、その軒が母屋の上にかかる屋根の構成は、本条例の趣旨に鑑みて梁切り妻(Zwerchgiebel)ないしは、梁切り妻の増築とみなされる。…

梁切り妻は、屋根の勾配が 30° 以下の場合に許される。…

(「ムールナウ建築等条例」)

### 資料 3

#### §4 建設用地の既存の土地および計画中の土地、またその周囲の柵

(1) 建物本体および外部に付属する施設の形成と配列に際しては、既存の土地の形状（土地の表面）を出来る限り維持しなければならない。やむなく盛り土をしたり削り取ったりする場合には、既存の土地と調和していなければならない。

(2) 通路、進入路および屋根のない駐車場のよう固めた表面は、やむおえない場合に限られる。その表面は、水が浸透するようにしなければならない。

(3) それぞれの住宅の用地には、できる限り幅を狭くした、たった一つの車の進入路が許される。角地については、例外的に両方向の道路に向けて 2 個の車の進入路を設置して構わない。

(4) 建物および建築部分の建築用地へのはめ込み

1 階部分の床の縁は中央部において、自然の土地表面、すなわち建築監督官庁によって決められた土地表面から 40cm を上回ってはならない。

地階部分はむき出しにしてはならない。光井が土地表面まで伸びていなければならない。…

(「ムールナウ建築等条例」)

### 資料 4

(6) 垣根は、その形状、高さ、材質、色調において、まちと通りの景観に調和し、建築物の性質に適合するように、形作られなければならない。

様々な垣根が攪乱するように（競合するように）併存するのは許されない。

(「ムールナウ建築等条例」)

### 資料 5

#### §5 ガレージと駐車スペース

(1) 各住居について駐車スペースは以下の数が妥当と認められる。

50m<sup>2</sup> 以下の住居 1 台分の駐車スペース

50m<sup>2</sup> を超過し、100m<sup>2</sup> 以下の住居 1.5 台分の駐車スペース

100m<sup>2</sup> を超過し、180m<sup>2</sup> 以下の住居 2 台分の駐車スペース

180m<sup>2</sup> を超過した住居 3 台分の駐車スペース

(3) ガレージは母屋に調和した屋根（§3(1)参照）と理解される。

(「ムールナウ建築等条例」)

資料6

§6 アンテナ、送受信設備の取り付けに関する規則

(1) アンテナ、送受信装置は、まちの景観を損なわない所のみ許される。

特に、アンテナ、送受信装置が許されないのは

a) 建物の上部または、建物に付着して、2.50mを越える

(2) 衛星放送受信装置（パラボラアンテナ）は、直径1.5mまで許される。しかし、できる限り共同受信設備を設置すること。

（「ムールナウ建築等条例」）

[小括] バイエレン州オーバーバイエルン県ガルミッシュ＝パルテンキルヘン郡において、第2の人口規模を誇るマルクト・ムールナウは、20世紀初頭に芸術家運動、「青い騎士」に関わったカンディンスキー、マルク、ミュンターによって、自然の景観の美しさが発見され、周辺地域を含めて「青い大地観光共同体」を形成している。近年では、マルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘンと並んで、医療・健康を観光の主軸にしてきた。同時に、旧市街には「ムールナウ建築等条例」によって、固有の景観を維持する努力がなされている。

注

(1) Landkreis Garmisch-Partenkirchen, *Wirtschaftsraum Garmisch-Partenkirchen*, p.28

(2) Markt Murnau a. Staffelsee, *Informationen zur Bürgerversammlung am 23.04.2013*, p.15-16

(3) Landkreis Garmisch-Partenkirchen, *Wirtschaftsraum Garmisch-Partenkirchen*, p.28

(4) Murnau am Staffelsee, Zeittafel, in interrete sub: [http://www.murnau.de/de/zeittafel\\_p2](http://www.murnau.de/de/zeittafel_p2), 11.02.2014

なお、ムールナウがマルクトとなったのは、1322年という指摘もある。(Baumann, S., *Geschichte des Marktes Murnau in Oberbayern*, Murnau, 1855, p.20-21)

(5) Kemmelpark, Historie, in interrete sub: <http://kemmelpark-murnau.de/informationen/historie.html>, 20.02.2014; Murnauer Grundstücks-Verwaltungs-GmbH, Impressum - Kemmelpark, <http://kemmelpark-murnau.de/impressum.html>, 20.02.2014; Murnauer Grundstücks-Verwaltungs-GmbH, Standort - Kemmelpark, in interrete sub: <http://kemmelpark-murnau.de/standort.html>, 20.02.2014 et Regierung von Oberbayern, Umnutzung der Kimmel-Kaserne in Murnau, in Tagung „Wege zur intelligenten Flächennutzung“, 24.Mai 2007

(6) ガルミッシュ＝パルテンキルヘン郡全体では、65歳以上の人口比率はさらに高く、26.4%である。(拙稿「農村地域における経済と観光——ガルミッシュ＝パルテンキルヘン郡の場合——」跡見学園女子大学『コミュニケーション文化』第7号、2013年)

(7) マルクト・ガルミッシュ＝パルテンキルヘンにおいても、外部からの通勤者は、1,582人であった。(拙

- 稿「ガルミッシュ＝バルテンキルヘンと観光」跡見学園女子大学『マネジメント学部紀要』第15号、2013年)
- (8) 「ガルミッシュ＝バルテンキルヘンと観光」跡見学園女子大学『マネジメント学部紀要』第15号、2013年
- (9) Tourismusgemeinschaft Das Blaue Land, Orte im Blauen Land, in interrete sub: [http://www.dasblaue-land.de/de/orte-im-blauen-land\\_p3](http://www.dasblaue-land.de/de/orte-im-blauen-land_p3), 17.02.2014
- ここで取り上げるムールナウ以外の自治体については、ゼーハウゼン ([http://www.dasblaue-land.de/de/seehausen-am-staffelsee-1\\_p3](http://www.dasblaue-land.de/de/seehausen-am-staffelsee-1_p3), 18.02.2014)、ウーフィング ([http://www.dasblaue-land.de/de/uffing\\_p3](http://www.dasblaue-land.de/de/uffing_p3), 18.02.2014)、エグルフィング ([http://www.dasblaue-land.de/de/eglfing-1\\_p3](http://www.dasblaue-land.de/de/eglfing-1_p3), 18.02.2014)、グロスヴァイル ([http://www.dasblaue-land.de/de/grossweil\\_p3](http://www.dasblaue-land.de/de/grossweil_p3), 18.02.2014)、リークゼー ([http://www.dasblaue-land.de/de/riegsee-2\\_p3](http://www.dasblaue-land.de/de/riegsee-2_p3), 18.02.2014)、シュパッツェンハウゼン ([http://www.dasblaue-land.de/de/spatzenhausen-1\\_p3](http://www.dasblaue-land.de/de/spatzenhausen-1_p3), 18.02.2014)、オールシュタット ([http://www.dasblaue-land.de/de/ohlstadt\\_p3](http://www.dasblaue-land.de/de/ohlstadt_p3), 18.02.2014)、グラーフェンアーシャウ ([http://www.dasblaue-land.de/de/grafenaschau-2\\_p3](http://www.dasblaue-land.de/de/grafenaschau-2_p3), 18.02.2014) のそれぞれのサイトで地域の観光ガイドを確認できる。
- (10) Rauch, C., *Blaues Land*, München, 2012, p.4 青い騎士については、池田祐子「〈青騎士〉—年刊誌・展覧会—新たな芸術総合の試み」、同「カンディンスキー 『芸術における精神的なもの』の探求」神林恒道編『ドイツ表現主義の世界』法律文化社、1995年、86～107ページ参照。
- (11) Murnau am Staffelsee, Schloßmuseum Murnau, in interrete sub: [http://www.murnau.de/de/schlossmuseum\\_p2](http://www.murnau.de/de/schlossmuseum_p2), 10.02.2014
- (12) Murnau am Staffelsee, Das Münter-Haus, in interrete sub: [http://www.murnau.de/de/munterhaus\\_p2](http://www.murnau.de/de/munterhaus_p2), 10.02.2014
- (13) Murnau am Staffelsee, Murnauer Galerien, in interrete sub: [http://www.murnau.de/de/murnauer-galerien-1\\_p2](http://www.murnau.de/de/murnauer-galerien-1_p2), 10.02.2014
- (14) 拙稿「農村地域における経済と観光——ガルミッシュ＝バルテンキルヘン郡の場合——」跡見学園女子大学『コミュニケーション文化』第7号
- (15) Institut für Gesundheitsökonomik / Kreisentwicklungsgesellschaft Garmisch-Partenkirchen, *Entwicklungskonzept für die Gesundheitsregion Landkreis Garmisch-Partenkirchen: Abschlussbericht für die Kreisentwicklungsgesellschaft Garmisch-Partenkirchen*, 2012, p.43
- (16) Berufsgenossenschaftliche Unfallklinik, Home, in interrete sub: <http://www.bgu-murnau.de/de-DE/>, 13.02.2014
- (17) Murnau Trauma Center, Home, in interrete sub: <http://www.bgu-murnau.de/en-GB/>, 13.02.2014
- (18) Murnau Trauma Center, Home, in interrete sub: <http://www.bgu-murnau.de/ru-RU/>, 13.02.2014
- (19) Berufsgenossenschaftliche Unfallklinik, Fachabteilungen, in interrete sub: <http://www.bgu-murnau.de/>

de-DE/medizin/fachabteilungen/, 13.02.2014

⑳ wer-zu-wem GmbH, Firmenprofil BG Unfallklinik Murnau, in interrete sub: <http://www.wer-zu-wem.de/firma/unfallklinik-murnau.html>, 20.02.2014

㉑ Klinik Hochried, *Jahresbericht 2011*

㉒ Bayerisches Landesamt für Statistik und Datenverarbeitung, *Statistik communal: Eine Auswahl wichtiger statistischer Daten für den Markt Murnau a.Staffelsee 09 180 124*, p.15

㉓ 拙稿「ドイツにおける「まち」の景観維持——マルクト・ミッテンヴァルトの事例——」跡見学園女子大学『観光マネジメント学科紀要』第4号、2014年参照。